

平成31年度(令和元年度)

まちづくり推進部 雄物川地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 雄物川地域局
局長名	佐々木 義和

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の強みを発掘、育成し、地域に「元気」を創り出します。

2. 局の抱える課題(現状)

- ・少子高齢化に起因する地域づくりに関わる組織の弱体化、地域の担い手不足
- ・持続可能な市民サービスの向上を図るための確実かつ安全な公共施設の整備、市職員のスキルアップ

3. 今年度の『スローガン』

「挨拶」・「笑顔」・「傾聴」で市民に必要とされ、親しまれる地域局を目指そう！

4. 今年度の方針

- (1) 地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進
- (2) 持続可能な市民サービス向上のための公共施設整備の促進
- (3) 地域に求められ、必要とされる職員・職場の実現

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進
	取組内容	・地域資源を生かした地域づくりの推進…中央公園・木戸五郎兵衛村や河川公園を活用した事業を推進し地域の元気を創出します。 ・地区会議と地区交流センターを主とした地域づくり活動の推進を図り、加えて、地区交流センターの防災機能、共助組織の拠点機能の充実を進めます。 ・地域づくり活動補助金の制度周知に努め、地域コミュニティ醸成に貢献します。
(2)	実現したい成果	持続可能な市民サービス向上のための公共施設整備の促進
	取組内容	・新庁舎、福地コミュニティセンターの建設及び旧大沢保育所の解体など、公共施設の整備を計画通り、かつ安全に進め、利便性や交流機能の向上を図るなど行政施設の環境づくりに努めます。 ・FM計画に基づいた公共施設の改修事業を進めるとともに、住民ニーズの把握に努め、住民理解を得ながら公共施設の改修等を推進します。
(3)	実現したい成果	地域に求められ、必要とされる職員・職場の実現
	取組内容	・職員個々の業務・接遇スキルの向上に努め、市民に必要とされる、また親しまれる職場づくりを推進します。 ・職員個々が地域の強みや課題を把握し、市民に寄り添った施策の推進を図ります。 ・他の部局事業、近隣地域の状況把握に努め、効率的、かつ効果的事業の推進を図ります。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

■地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進

- ・地元若者たちが実行委員会を組織したイベントの開催・・・桜ライトアップ(木戸五郎兵衛村)、おもフェス2019(中央公園活)
- ・地区会議事業への参加促進をし回覧板を活用し呼び掛けた。
- ・地域づくり関連補助金活用について、地区担当職員、地区会議等を活用しPRを行った。☞地域づくり活動補助金10件、町内会活動補助金5件、同備品整備補助金1件、コミュニティ助成補助金へ申請・採択されたもの1件
- ・特産品のスイカを活用した雄物川小、雄物川高速連携事業(スイカ栽培、商品開発、PR活動の実施)を推進した。☞参加イベント(横手駅での連携PR活動)

■持続可能な市民サービス向上のための公共施設整備の促進

- ・新庁舎、福地コミセン改築、旧大沢保育所解体事業へ着手した。
- ・地区会議事業、地域イベントへの若手市職員の参加率が低く、地区担当職員制度についての周知と地域活動への参加を引き続き促す。

■地域に求められ、必要とされる職員・職場の実現

- ・個々のスキルアップ、自己啓発などを目的に一人一研修以上受講を呼び掛ける。
- ・課、係単位の朝ミーティング実施による情報、意識の共有化の促進し、習慣化させる。
- ・縦割り業務、係内、課内、局内の連携を強め、効率的な業務を行うための工夫。☞「一人仕事」の解消。係、課、局内の業務連携の実行。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

■地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進

- ・観光振興に向けた木戸五郎兵衛村、河川公園を活用した冬季イベント(ツアー対応、雪を活用したイベント)の協議・・・木戸五郎兵衛村かまくら実行委員会メンバー、(株)バーサイドホテルズ、観光おもてなし課関係者との協議
- ・地区会議事業、地域イベントへの若手市職員の参加率が低く、地区担当職員制度についての周知と地域活動への参加を引き続き促す。
- ・地域づくりに関わるメンバー(各イベント実行委員など)の意向調査と人材育成に向けた取り組みを強化する。

■持続可能な市民サービス向上のための公共施設整備の促進

- ・新庁舎、福地コミセン改築、旧大沢保育所解体事業については、引き続き、市民への情報提供と理解・協力を求めながら、工期内の完成を目指す。
- ・福地コミセンの供用開始に向けた条例等の諸整備を行う。
- ・新庁舎周辺整備(庁舎解体、跡地活用、道路管理センター等の整備)に向け、庁内若手職員PTからの提案内容の検討と具体的事業計画の策定。
- ・防災行政無線の制度、施設廃止に向けた住民周知方法の検討と実行。

■地域に求められ、必要とされる職員・職場の実現

- ・効率性・持続性・透明性確保のための業務ローテーションの検討と実行。
- ・引き続きの研修受講を呼びかける。☞受講後のフォローを確実に実行。
- ・課、局をまたいで事業推進。☞観光資源の広域的連携(観光ツアー商品の提案など)

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

■地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進

- ・当地区は、5地区すべてに地区交流センター運営協議会と地区会議が設置されており、地域づくりの推進体制は整備されているといえる。特に、福地地区にあつては、福地コミュニティセンターの建設を契機に、地域づくりへの住民参画の機運が高まっており、雄物川地域の地域づくり活動の推進役としても期待されている。
- ・地域活性化に向けた各種イベントについては、集客面(周知方法)や実行委員会の運営、担い手不足などの課題はあったものの、おおむね予定通り実施できた。特に木戸五郎兵衛村でのかまくらイベント(大手旅行会社ツアー対応、かまくら撮影会、かまくらin木戸五郎兵衛村おもてなし)については、雪不足対策として、主に除雪作業員の協力を得ながら雪を運び込み、クオリティーの高いイベントを開催できたことは、地域局の連携プレーの成果と評価できる。来場者(インバウンド含む)の満足度も高く、今後も、関係者が意見を交わしあいながら育てあげべきイベントである。

【課題解決に向け】

- ・地域づくり活動補助金の積極的活用と地域活動(交流センター事業、町内活動等)への参加促進のため、地区担当職員制度の周知と職員の参加率向上を目指す(特に若手職員)。
- ・木戸五郎兵衛村や各公園等、当地域の強みを生かした地域資源の活用促進と、地域づくりに関わる人材(組織)の発掘・育成に向けた取り組みの強化。

■持続可能な市民サービス向上のための公共施設整備の促進

- ・新庁舎(R1年度分)、福地コミセン改築事業、旧大沢保育所解体事業については、地域住民への情報提供と理解・協力を得ながら工期内に完了することが出来た。
- ・新庁舎の建設、庁舎解体に合わせた学童保育施設、社協事務所の移転先についての協議・調整が出来た。

【課題解決に向け】

- ・新庁舎周辺整備(庁舎解体、跡地活用、道路管理センター等の整備)に向け、FM計画のローリング(変更)と具体的事業計画の策定、財源確保に向けた協議。
- ・防災行政無線の制度、施設廃止と新たな周知方法等、住民周知の検討と実行。
- ・老朽化、利用実績の低い(類似施設が近くに立地している)榎の木館、のびる館については、解体も視野に地元の意向確認と関係部署との協議を開始する。

■地域に求められ、必要とされる職員・職場の実現

- ・窓口業務、見守り業務(8050活動、子育て支援ネットワーク委員会)など、地域の特性にあわせた業務遂行ができた。
- ・地域局調整会議、朝の課内ミーティングの確実な実行により、職員全員に発言機会を創出し、地域局業務の方針、方向性の意識共有、課内業務や課題の共有が出来た。

- ・職員個々が地域の強みや課題把握に積極的の行動すること、業務関連研修、自己啓発研修へ参加することについては、まだ十分とは言えない。

【課題解決に向け】

- ・縦割り業務の解消による業務の効率化、持続性の確保のため、係、課、局をまたいで事業・業務を推進する。
- ・自ら地域課題の発見と解決に向けた行動(地域づくり支援事業等の活用、関係部署への連絡・調整)と職員としてのスキルアップにつながる研修受講を呼びかける。☞管理職による受講後のフォローを確実に実行。